



か ん あ そ ひ

ゆ に わ

神 游 の 庭

ただす

下鴨神社・ただす 糺の森の原風景を求めて

2009年2月9日(月) 15:00-17:00

地 球 研 ・ 講 演 室

講師:新木直人氏

(賀茂御祖神社宮司)

申込不要

聴講無料

神游 (かんあそひ) の庭 (ゆにわ) 糺の森の原風景を求めて

下鴨神社こと賀茂御祖神社(かもみおやじんじゅ)を中心とする一帯を、「下鴨」という。京都有数の住宅街のひとつである。わずか一年足らずの短い期間であったが、かつて下鴨に住んだことがあった。いまから15年ほど前、まだ学生のころの話である。

下鴨には、地域を縦断するかたちで、泉川という小川が流れている。下宿の窓の下にはこの小川が見えた。多くの都市部の例にもれず、泉川も、三方コンクリートで固められていたが、かえって生活感があるような気がして親しみを感じたのを覚えている。大学への行き帰りなど、わざわざ川沿いの細い路地を歩いたりしたものだ。

この泉川には、もう一つ別の姿がある。家々の間を縫うように南流した泉川は、やがて、五本の定規筋がほどこされた土塀にぶつかり、そのまま塀の下をくぐりぬけ、向こう側へと注ぎこむ。塀の向こうは下鴨神社、そしてその社叢林である糺の森(ただすのもり)が広がる。泉川のもう一つの姿が現れるのはここからである。

糺の森の中で、泉川は、自然のままの姿をとり戻す。兩岸には木々がかかり密に生い茂るが、それらの多くはケヤキ、エノキ、ムクノキといった落葉広葉樹であり、特に秋から冬にかけては、森の中にもかかわらずほどよく明るい。平らな岸部には、水際まで厚く木の葉が降り積もり、単に自然のままだからというのではなく、この植生ならではの、優しく、穏やかな雰囲気がある。

こうした二つの姿をもつ泉川は、糺の森の性格を鮮明に示しているようにも思われる。糺の森は社叢林であると同時に、都市林でもある。人々が集い憩う場であると同時に、神々に祈り捧げる場でもある。厳粛な神域として境界づけられながらも、人々の日常生活と接続した自然である。

コンクリート護岸の人工的な日常、いや、自然そのものもまた、ここでは「浄化」されている——糺の森、とりわけその中を流れる泉川を見るうちに、いつしかそんな気がするようになった。下鴨に住んだのは、阪神淡路大震災の直後だった。瓦礫と化した街の記憶に苛まされていた日々。失われた生活も、それを奪った自然も、いずれも否定するのではなく受け入れながら、いつまでも穏やかに流れつづける、そんな別の自然の姿が、あの森の中の小川にはあった。

暮らしのすぐそばで、神々と人々、そして自然が、交錯し、交遊し、感応する、「神游の斎庭」。それが、糺の森である。自然を熟知した古人の「知恵」なのか、日本人のなかに深く根ざしたアニミズム的な「信仰」の所産なのか、その由来を即断するのはここでは避けたい。ただ、われわれの日常のすぐ先にそんな自然との接続の場がある——宮司新木直人氏とともに、下鴨神社・糺の森の原風景をたどる今回のセミナーが、そんな別なる自然のありように思いをいたす機会になれば幸いです。
(企画担当: 鞍田崇)



糺の森の泉川 「きみがため 今日のみそぎに 泉川 万代すめと 祈りつるかな」(続新古今・藤原俊成)。古くは禊にも使われたという。

【講師】 新木 直人 ARAKI Naoto

賀茂御祖神社宮司。1937年、京都市生まれ。1958年、京都國學院卒業後、旧大阪外国語大学別科(現大阪大学)修了。生国魂神社(大阪市)を経て、1963年より賀茂御祖神社(下鴨神社)奉仕。1989年、京都市伝統行事伝承者、1990年、京都市伝統芸能功労者、2002年より現職。現在、全国賀茂社連合副理事長、社会福祉法人迦陵園後援会長、葵祭行列協賛会理事、京都府神社庁理事、神社本庁参与、京都文化財所有者協議会理事、全国文化財所有者連絡協議会評議員、社叢学会顧問、京都國學院理事、國學院大学評議員、皇學館大学評議員、京都大学大学院学林運営委員など、多くの役職を務める。著書に『葵祭の始原の祭り—御生神事 御蔭祭を探る』(ナカニシヤ出版、2009)、『神游の庭』(経済界、2007)、『世界文化遺産 下鴨神社と糺の森』(賀茂御祖神社編、淡交社、2003)など多数。

日時：2009年2月9日(月) 15:00 - 17:00
会場：総合地球環境学研究所(地球研) 講演室
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山475-4



【アクセス】

- JR「京都駅」・近鉄「京都駅」・阪急「烏丸駅」より
京都市営地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館」下車。国際会館駅バスターミナル2番乗場から京都バス40系統(京都産業大学ゆき)もしくは50系統(市原ゆき)にて(約10分)、「地球研前」下車スグ。
- 京阪「出町柳駅」より
叡山電鉄鞍馬線に乗り換え、「京都精華大前」もしくは「二軒茶屋」下車、徒歩10分。
- 車・タクシーでお越しの方は
国際会館より府道40号線で二軒茶屋方面へ。

申込不要・聴講無料

主催・大学共同利用機関法人 総合地球環境学研究所 文明環境史領域 プロジェクト
「農業が環境を破壊するとき」(リーダー:佐藤洋一郎・地球研教授)
<http://www.chikyu.ac.jp/sato-project>

お問い合わせ 環境思想セミナー担当 鞍田崇(地球研・研究員)
075-707-2382 fax.075-707-2508 kurata@chikyu.ac.jp

<http://www.chikyu.ac.jp/sato-project/thought.html>